

目次

□巻頭言 建設機械化の発展について思う……………望月邦夫/1

新東京国際空港の大土工事……………内田哲郎/2
 稲富茂

新豊根発電所建設工事の現況……………福田克彦/13

利根川河口堰建設事業(その2)

— 施工実績(1) —……………君塚昂/22

グラビア——利根川河口堰の建設

阿讃トンネルの施工実績……………稲田長徳/33
 西菊池正伍

沈埋管沈設のための機器……………松並仁茂/43
 岡並尾正己

新関門トンネルの技術的問題点……………佐藤能章/51
 宮崎正義

□随想 のんびりした話……………坪質/58

フランス政府技術給費生を終えて……………青沼英明/60

プレハブ工場の設備と作業の流れ……………引地重俊/67

宅地造成工事における搬土計画

— コンピュータを使用して —……………浦山功二/70
 谷地森健

静止レオナードについて……………伊藤昌明/77

□建設機械化講座 第102回

現場フォアマンのための土木と施工法

XVII. 建設機械概説

2. トラクタ系建設機械(その2)……………本多忠彦/81

□研究所巡り

工業技術院機械技術研究所……………川上久正/89
 渡辺

日本国有鉄道鉄道技術研究所……………内田秋雄/92
 二宮嘉弘

□文献調査

オランダにおける土の安定処理……………広報部会/95
 文献調査委員会

□支部だより

第8回建設機械展示会開催……………九州支部/97

ニューズ……………(編集部)/98

理事会の開催……………/100

行事一覧……………/101

編集後記……………(高橋・川上)/102

◀表紙写真説明▶

川崎・クルップ
 バケットホイールエキスカベータ
 C-500型
 川崎重工業株式会社

大型化する土木工事に対応して土木機械も大型化、連続化、省力化、高速化が要求されてきている。

本機はその要請に応える新しいタイプの土木機械である。数多くの実績をもつクルップの実績をもとにして製作される本機は、いままでの機械と異なって土から軟岩までの広い範囲の土質に適用し、理論掘削とおり土を掘削できる高性能の機械である。

主要仕様

運転重量	332t
掘削能力	2,100 m ³ /hr
総電気容量	860 kW